【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2007-172785(P2007-172785A)
【公開日】平成19年7月5日(2007.7.5)
【年通号数】公開・登録公報2007-025
【出願番号】特願2005-372110(P2005-372110)
【国際特許分類】
Ｇ１１Ｂ　33/08　　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　25/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１１Ｂ　33/08　　Ｅ
Ｇ１１Ｂ　25/04　　１０１Ｌ

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月8日(2008.10.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
シャーシと、
前記シャーシにメインダンパを介して支持されたベースと、
前記ベースに保持されディスクを駆動するディスクモータと、
前記ベースに後述する第１のサブダンパ及び第２のサブダンパを介して支持された動吸振子とを有し、
前記第１のサブダンパと前記第２のサブダンパとはディスクの厚さ方向の共振周波数とディスクの水平方向の共振周波数との関係が互いに異なることを特徴とするディスク装置。
【請求項２】
シャーシと、
前記シャーシにメインダンパを介して支持されたベースと、
前記ベースに保持されディスクを駆動するディスクモータと、
前記ベースに後述する第１のサブダンパ及び第２のサブダンパを介して支持された動吸振子と、
前記動吸振子と前記ベースに当接しディスクの厚さ方向の共振周波数がディスクの水平方向の共振周波数より低い弾性体を備えた第１のサブダンパと、
前記動吸振子と前記ベースに当接しディスクの厚さ方向の共振周波数がディスクの水平方向の共振周波数より高い弾性体を備えた第２のサブダンパと、
を有するディスク装置。
【請求項３】
第１のサブダンパは、弾性体の所定方向の共振周波数が前記弾性体に対する前記所定方向の圧縮の強さに基いて制御されることを特徴とする請求項１乃至２のいずれか１項に記載のディスク装置。
【請求項４】
第２のサブダンパは、弾性体の所定方向の共振周波数が前記弾性体に対する前記所定方向の圧縮の強さに基いて制御されることを特徴とする請求項１乃至２のいずれか１項に記

載のディスク装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
この目的を達成するために本発明のディスク装置は、シャーシと、前記シャーシにメインダンパを介して支持されたベースと、前記ベースに保持されディスクを駆動するディスクモータと、前記ベースに後述する第１のサブダンパ及び第２のサブダンパを介して支持された動吸振子とを有し、前記第１のサブダンパと前記第２のサブダンパとはディスクの厚さ方向の共振周波数とディスクの水平方向の共振周波数との関係が互いに異なることを特徴とする構成を有している。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】